

「最上川200キロを歩く」 が行われました

5月11日からスタートした山形新聞主催の『最上川200kmを歩く』。
最上川の源流から河口までを11週にわたり11の小学校の子供たちがリレーします。
第3週目と第4週目は、長井出張所の管理区間を元気いっぱい歩きました。

第3週目 5月25日(土)

長井市立平野小学校4年生24名が、白川合流点(長井市)から陸橋(白鷹町)までの区間を担当しました。長井ダム見学後、最上川沿いのフットパスを歩きました。



元気に出発!



ひかん
樋管の見学



◀木道



量水標



水質検査



▲飛び石

河川はん濫時の水位危険度レベルを量水標で確認



川の汚れ



最上川沿いにある歩くことを楽しむための道“フットパス”
飛び石や木道も渡りました。



第4週目 6月1日(土)

白鷹町立荒砥小学校4~6年生21名が、陸橋(白鷹町)から新五百川橋(朝日町)までの区間を担当しました。普段見ることのできない施設も見学しながら散策しました。



スタート!!



ペットボトルを使用し川水の透明度を測定



白鷹浄化管理センター見学

こうやってきれいな水になっていくんだあ!

緊急資材倉庫の見学



ゴ〜ル!!

ロマンと謎の巨石「つぶて石」



木道のフットパス



堤防の除草に活躍!!

洪水に備え、必要な資材を備蓄しています



遠隔操縦式
草刈機の出動